

## ◆2019年 中学入試算数 講評【桜蔭】

毎年男子校に負けないくらい東大理科3類の現役合格者を輩出する、桜蔭中学。

今年も例年と同様、大部分が思考力を問われる問題でした。と同時に、例年通り長文の意味をくまなく読み取ることを含め、計算や処理が早く正確にできるかも要求されており、出題傾向が変わらない中では、男女も含めて関東圏内の私立でもっともタフな試験と言えるでしょう。

また、とんでもなく美しい問題が今年桜蔭から生まれました。

時計が重なる時刻は、

通常の時計であれ、通常と異なる特殊な時計であれ、

答えが分数になってしまう（計算がやや煩雑な数値になってしまう）

ことがほとんどでしたが、

今年の桜蔭では、計算の負荷が極めて少なくなるように、

特殊な時計を絶妙に設定しています。